

日刊建設新聞

The Nikkan Kensetsu Shimbun

発行所
日本建設新聞社
仙台市青葉区上杉1-6-10
電話 022-221-9211
FAX 022-216-1051

日本測量協会東北支部（渥美雅裕支部長）は7日、仙台市内で公共測量品質管理優秀賞の表彰式を開催した。受賞者はバスコ東北事業部（仙台市宮城野区）と富士測地開発（登米市）、陸奥テックコンサルタンツ（福島県）の3社。同協会本部の住田英二専務理事が「公共測量成果の検定で受検された成果品の品質管理が優秀と認められた」と各社それぞれに表彰状を手渡し、功績をたたえた。

18回目となる「公共測量品質管理優秀賞」は、2021年度に同協会が実施した公共測量成果（基準点測量・地図作成）の検定において、品質が特に優れていると認められた全国の測量会社35社を表彰。6月24日の

東京本部を皮切りに全国の各支部で表彰式を執り行っている。

測量の品質管理で優秀賞

日本測量協会東北支部が表彰

東北支部管内では地図部門でバスコ東北事業部、基準点部門で富士測地開発と陸奥テックコ

ンサルタンの3社が受賞。7日の支部業務報告会に合わせて表彰式典を開き、3社の功績をたたえた。バスコは地図部門で5回目の受賞、基準点の富士測

令和4年度 公益社団法人日本測量協会東北支部
業務報告会並びに品質管理優秀賞表彰式



優秀賞の受賞者と渥美支部長（前列右端）や本部の住田英二専務理事（前列左端）が記念撮影

バスコや富士測地開発ら

地開発と陸奥テックコンサルタンツは初の受賞となった。

式典で本部の住田専務理事は「2005年の品確法施行以来、測量が持つ役割が徐々に認知されてきた」と述べるとともに、業界の喫緊の課題である担い手確保を視野に「安定してこのような賞を受賞し続けることが、各社の基礎的な取り組みとして大事だと考えている。当協会としても個人技術者を応援する団体として、皆さんが品質の高い成果をあげていただけるよう支援していく」と力を込めた。

なお、支部の業務報告会では、21年度の事業報告や22年度の事業計画などを説明。渥美支部長は会員に対し「測量は我が国のインフラ整備にとって重要な役割を持つ。皆さんには経営基盤の安定と共にICTへの対応など技術力向上に向けて尽力してほしい」と力を込め、各社を支援する支部活動に取り組む考えを示した。

策にも備える意向だ。

委託する測量業務では、

履行期間は11月25日

属棟4棟を解体する。

本庁が所管する建設関

連業務は4件。

シーム護岸工事」を発注する。

この工事は、阿武隈大

ドックを埋め立てている 堰（岩沼市南長谷）巨理

周辺地域の8・7haを対

石本建築事務所が請け